

真空管プリメインアンプ

TRV-88SER

使用説明書

平成 31年3月1日 第2.4版



真空管のヒーターの明るさが違うものがあります
ありますが性能には影響ありません

本機は一般家庭用オーディオ機器として作られたものです。
一般家庭用以外（たとえば飲食店等での BGM など営業用の長時間使用、車両、船舶
への搭載使用、野外での使用など）に使用しないでください。
一般家庭用以外での使用で故障した場合は、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。

TRIODE

株式会社 トライオード

〒343-0032 埼玉県越谷市袋山609-3
Tel : 048-940-3852 Fax : 048-940-3853
URL : <http://www.triode.co.jp/> e-mail : service@triode.co.jp

不明点やご質問等は当社ユーザーサポート係宛て、下記時間内にお問合せください。
ユーザーサポート受付時間：月～金曜日 TEL 10:00～16:00(休業日を除く)

警告

・以下の内容を無視して誤った取扱をすると火災や感電による人身事故の原因となります。

絶対に裏蓋を開けたりしないで下さい。故障や感電の原因となります。特に本機は内部に高電圧を使用するため、内部接触による人体の損傷や火傷などの責任は負いかねます。

万が一、以下の様な異常が生じた場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。そのまま使用すると火災や感電の原因となりますので直ちに弊社へ修理をご依頼下さい。

- ・煙が出たり異臭がする
- ・本機の内部に水(その他の液体)や異物が入った
- ・落したり、本体を破損した

本機を交流(AC)100V以外の電源で使用しないで下さい。それ以外の電源電圧や船舶等の直流(DC)電源には直接接続しないで下さい。故障や火災、感電の原因となります。

電源コードを傷つけないで下さい。(重い物の下敷きになる/無理にねじ曲げたり引っ張ったりする/加工する/加熱する)電源コードが破損(芯線が露出、断線)すると火災や感電の原因となります。また、電源プラグにホコリがたまらない様にして下さい。プラグとコンセントの間にホコリがたまると火災や感電の原因となります。定期的にプラグをコンセントから抜いてホコリを取り除いて下さい。

以下の内容をお守り下さい。内容に反したご使用をされると火災や感電、火傷の原因となります。

- ・本機の上や周囲に花瓶や水などが入った容器を置かない
- ・本機を改造しない・本機の通風口をふさがない

注意

・以下の内容を無視して誤った取扱をすると感電やその他の事故により怪我や物的損害の原因となります。

必ず付属の真空管カバーをご使用下さい。使用時は真空管が高温になるため直接接触すると火傷の原因となります。特にお子様の手の届かない様にして下さい。

ふらついたり傾いた所などの不安定な場所や、湿気やホコリの多い場所、調理器具や加湿器等の油煙や湯気が当たる場所へに設置しないで下さい。落下による怪我や発煙、発火の原因になります。

電源コードは以下の様な取扱いはしないで下さい。破損による感電や発火の原因になります。

- ・プラグを抜く時にコードを引っ張る
- ・ぬれた手でプラグを抜き差しする
- ・熱器具のそばに近づけて設置する

ヒューズは必ず規定の物をお使い下さい。規定を越える値(アンペア数)を使用すると火災や事故の原因となります。

長期間ご使用にならない時は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて下さい。また移動やお手入れの時は、電源を切り真空管が冷えてから電源プラグをコンセントから抜いて行って下さい。

電源を入れる時は音量を最小にして下さい。突然大きな音が出て聴力障害の原因になる事があります。また、ご使用時は適切は音量でご鑑賞下さい。長時間大音量でお聴きになると聴力障害の原因となります。

付属の電源コードは本機専用です。他の機器では使用出来ません。

保証について

本機は取扱説明書に記載された注意事項等に添った正しい使用状態で保証期間内に故障が生じた場合は、弊社にて無償で修理致します。但し、以下の様な場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。この場合の修理は全て実費とさせていただきます。

- 1) お客様による本製品のパーツ交換を含む改造を行った場合
- 2) 本製品純正品以外の真空管を使用した事によりアンプ本体や他の真空管に故障や損傷が生じた場合、または接続された器機により不具合が生じた場合
- 3) 取扱説明書に記載されていない操作方法やご使用上の誤りによる故障や損傷
- 4) 輸送、移動、落下等による故障や損傷
- 5) 落雷、地震、風水塩害、その他の天変地異や、公害、火災、異常電圧による故障や損傷
- 6) お客様の希望による真空管の交換や調整、その他メンテナンスの時
- 7) 業務用など一般家庭用以外での使用による故障および損傷

※本機のご使用によって生じた商業上及び資産上その他いかなる損害に対しての賠償責任は負いかねますのでご了承下さい。

接続と使用方法

- 1) 真空管カバーの左右を持って上方に引き上げ、取り外します。真空管にかぶせてあるクッション材を取り除き、元の位置に真空管カバーを取り付けます。
- 2) 付属の電源ケーブルを背面のACインレットに差し込みます。
- 3) お聴きになるソースをそれぞれの入力端子に接続します。
 - ・ LINE1~3
CDプレーヤー等のラインレベルのソースを接続します。
 - ・ PHONO
MM/VMカートリッジを搭載したレコードプレーヤーを接続します。MCカートリッジをご使用の際は別途昇圧トランスやヘッドアンプをご用意下さい。
 - ☆ REC OUT
INPUT SELECTOR で選択した入力信号を出力します。テープデッキやCDレコーダー等のアナログ入力器機を接続する事でアナログ録音が可能です。

※接続するRCAピンコードは別途ご用意下さい。

- 4) OUTPUTターミナルにスピーカーケーブルを接続します。プラス側はご使用になるスピーカーのインピーダンスに合わせ6Ωまたは8Ωの端子に、マイナス側は黒い0Ω端子に接続します。
※4Ωのスピーカーは6Ω端子に接続して下さい。
- 5) 接続が終わりましたらボリュームを左に絞った状態で電源を入れ、「INPUT SELECTOR」で各入力端子に接続した機器を選択し、ボリュームを調整してお楽しみ下さい。

※電源をONにした直後はミュート動作となり、音が出るまでしばらく時間がかかります。電源ランプの点滅が終わりますと、ミュートが解除されて音が出る状態となります。

※ヘッドフォンはインピーダンス30Ω以上のものを推奨します。ステレオミニジャックをお使いの場合は別途変換プラグをご用意下さい。

6) リモコンのご使用方法

本機は付属のリモコンでボリューム操作と消音ができます。"VOL+"で音量が大きく、"VOL-"で小さくなり、"MUTE"を1回押す毎に消音一解除が出来ます。

※"MUTE"中にはボリュームを上げない様に注意して下さい。解除時に大音量になり、スピーカーの破損や聴力障害の原因となります。

・リモコンの電池交換

リモコンには出荷時には電池が入っておりませんので、下記の要領で付属の単四電池2本を装填して下さい。

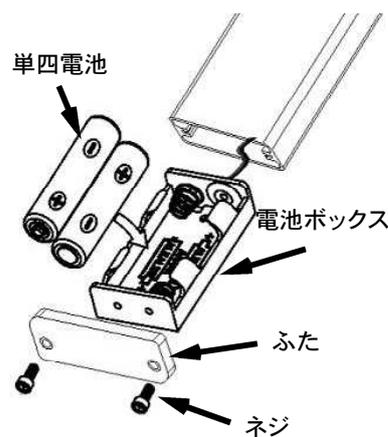
①リモコン底部のネジ2本を取り外し、ふた(赤い部分)を取り外します。ドライバーはプラス2番が適当です。

②中から電池ボックスを引き出し、単四電池を右図の様に極性に注意して装填します。

※電池ボックスは強く引っ張らないで下さい。配線が切れて使用出来なくなる事があります。

③電池ボックスをリモコン本体内に元通りに戻し、赤いふたを取り付けてネジで止めます。

※付属の単四電池は動作確認用ですので、消耗した際は新しい物と交換して下さい。



ヒューズ交換について

ACインレットより電源コードを抜き、ヒューズホルダー上面にある溝にマイナスドライバー等を引っかけて引き出します。ヒューズは125Vまたは250Vのタイムラグ型のT4Aを使用して下さい。



※交換したヒューズが再び切れてしまう場合、本体に異常がある可能性があります。その時は直ちに使用をやめ、コンセントから電源プラグを抜いて修理をご依頼下さい。

TRV-88SER仕様

- 回路形式：固定バイアス方式 真空管AB級プッシュプルステレオプリメインアンプ
- 使用真空管：KT88 ビーム管×4本 12AX7 双三極管×1本 12AU7 双三極管×2本
- 定格出力：35W+35W (8Ω)
- 周波数特性：10Hz~100kHz -1/-4dB ■SN比：90dB以上 ■歪率：0.3%以下
- 入力感度：0.4V(100kΩ)
- 入力インピーダンス：LINE1~3 100kΩ PHONO 47kΩ(MMカートリッジ対応)
- 出力端子：スピーカー出力 6Ω/8Ω ステレオ標準ジャック×1
- 消費電力：無信号時 100W 最大出力時 220W
- 外形寸法：幅345×奥行320×高さ185mm ■重量：17kg
- 付属品：取扱説明書、電源コード、リモコン、単四型電池×2

スペアパーツ

- ・補修用真空管
 - KT88 1本 8,000円
 - 12AX7 1本 2,800円
 - 12AU7 1本 2,800円
- ・サイドウッド 1セット(取付ネジ含む) 5,000円

※価格は2019年3月現在、税抜価格